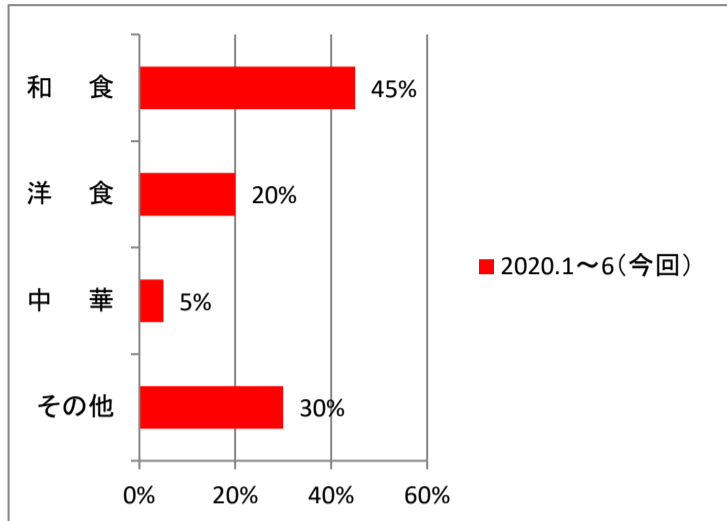


【 2020年7月実施 景況調査アンケート集計結果 】

◆◆ 飲食業 ◆◆

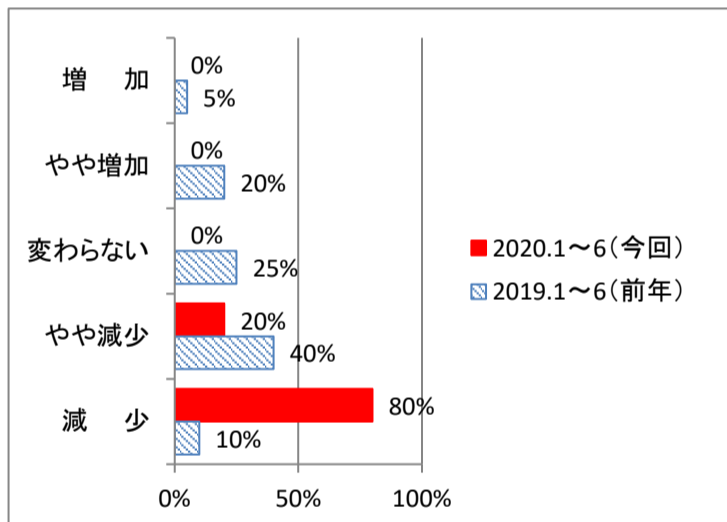
【 分類別 】



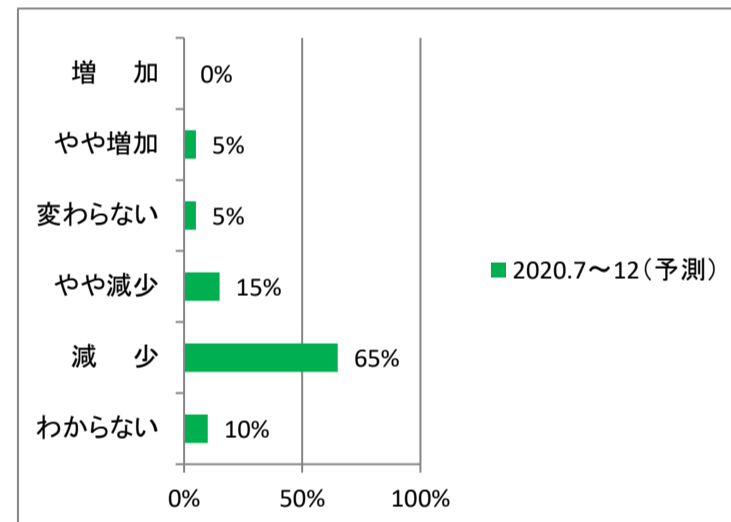
和食45%、洋食20%、中華5%、その他(喫茶店・スナック等)30%

【 売上 】

今回結果と前年結果の比較



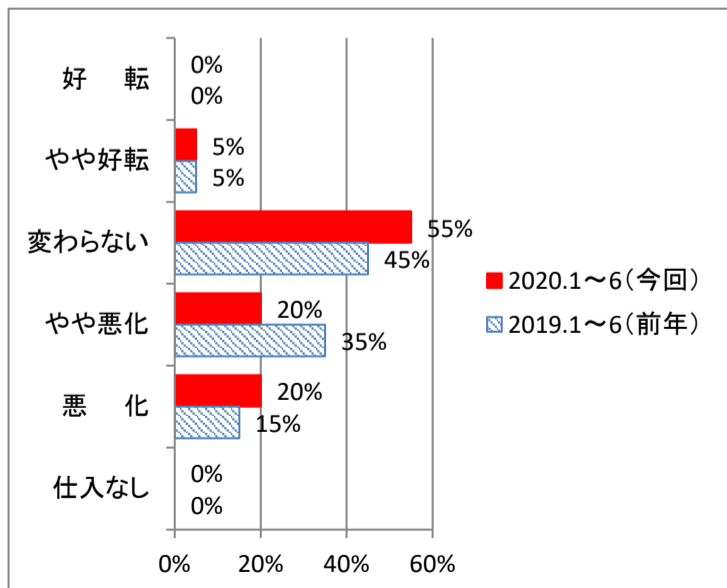
予測(2020年7~12月)



「やや減少」が20%、「減少」が80%と回答しており、「やや減少」「減少」で全体の100%を占めている。

【 仕入 】

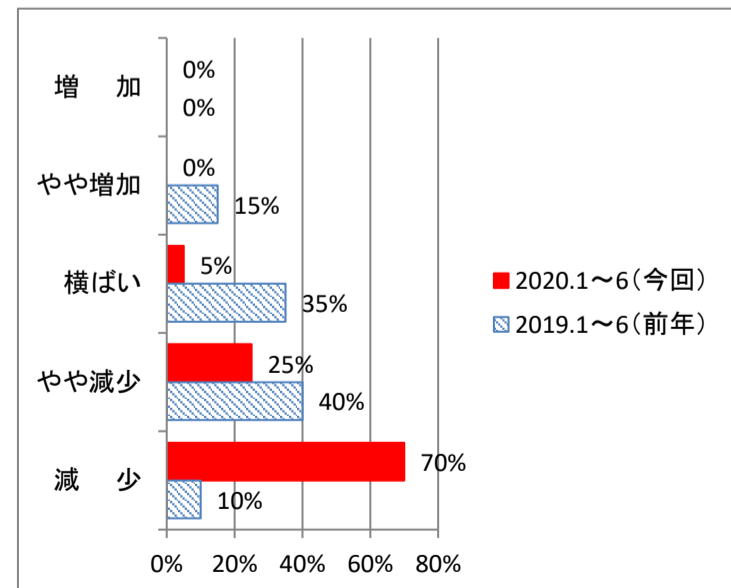
今回結果と前年結果の比較



「変わらない」が55%とほぼ半数であるが、「やや悪化」「悪化」が20%ずつを占めている。

【 利益 】

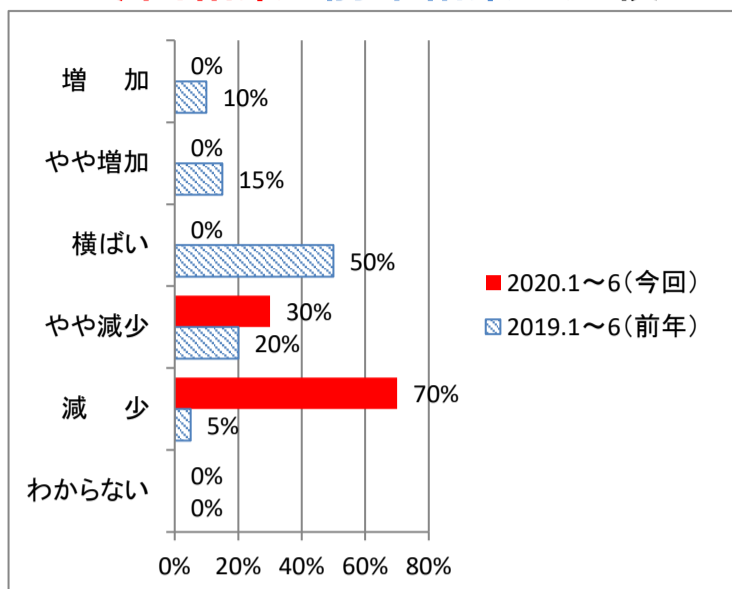
今回結果と前年結果の比較



「やや減少」が25%、「減少」が70%と回答しており、「やや減少」「減少」で全体の95%を占めている。

【客数】

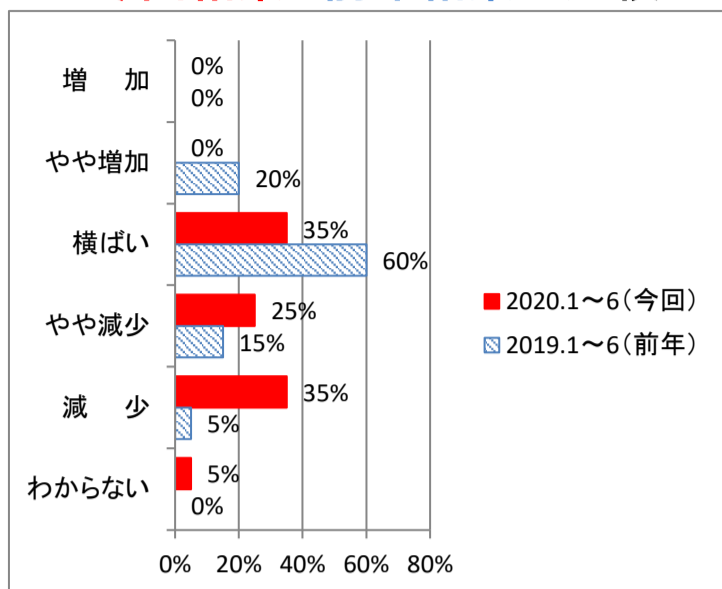
今回結果と前年結果の比較



「やや減少」が30%、「減少」が70%に増えている。
「やや減少」「減少」で全体の100%を占めている。

【客単価】

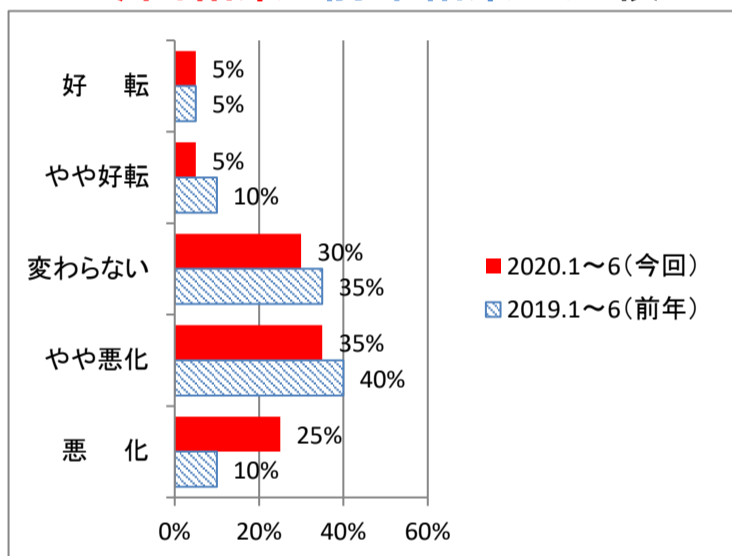
今回結果と前年結果の比較



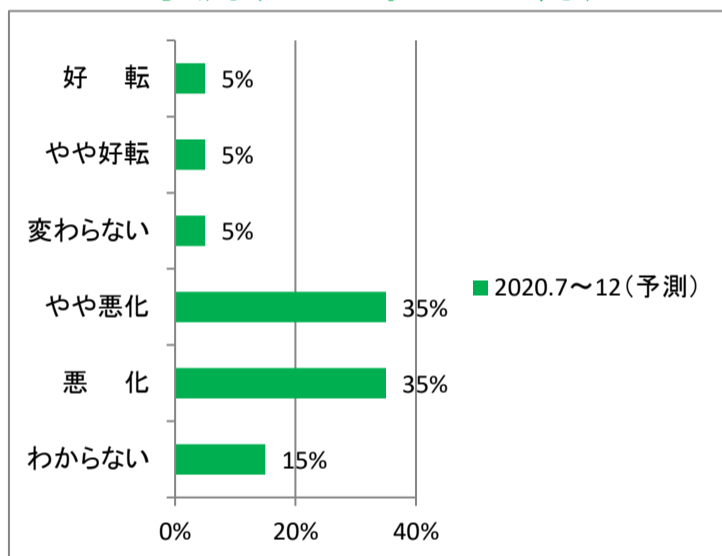
「やや増加」という回答が無くなり、
「やや減少」が25%、「減少」が35%に増えている。

【資金繰り】

今回結果と前年結果の比較



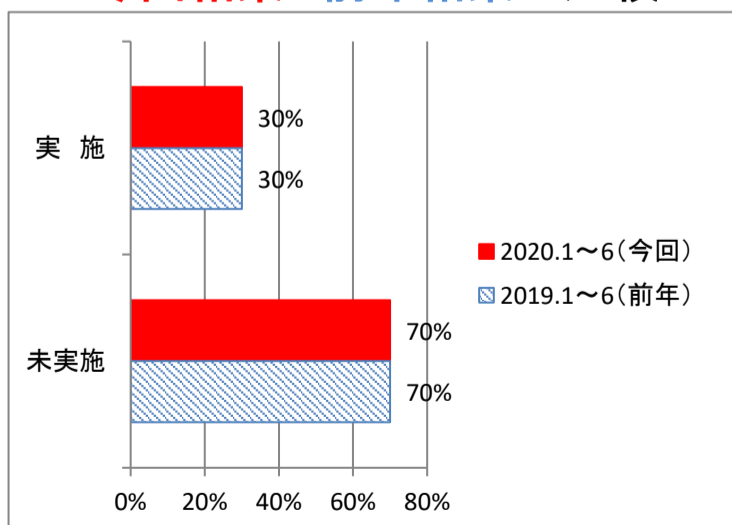
予測(2020年7~12月)



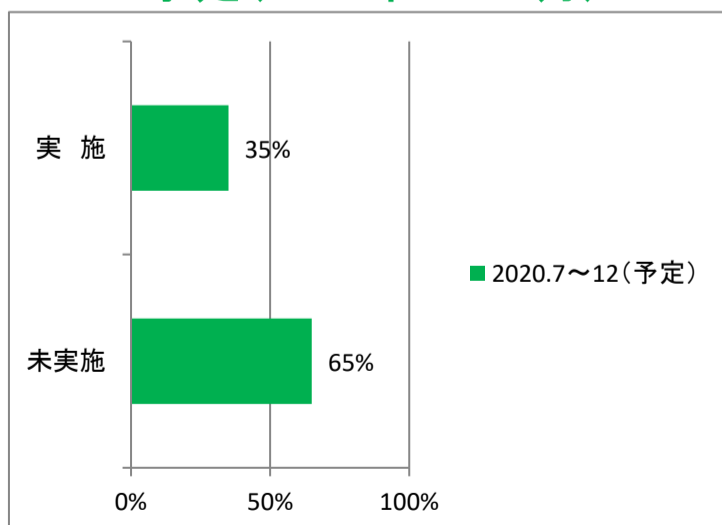
「やや悪化」が35%を占め、「悪化」が25%に増えている。

【設備投資】

今回結果と前年結果の比較



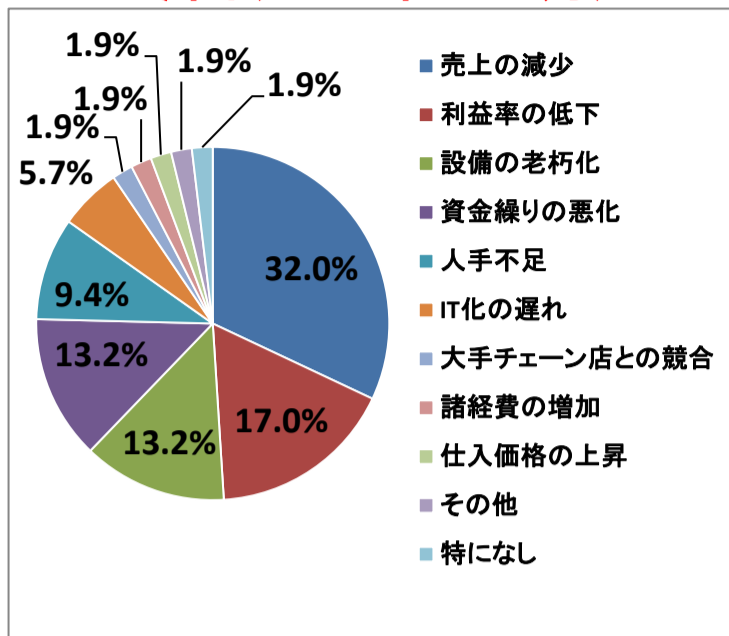
予定(2020年7~12月)



30%の事業所で設備投資を行っている。今後は35%の事業所が設備投資を予定している。

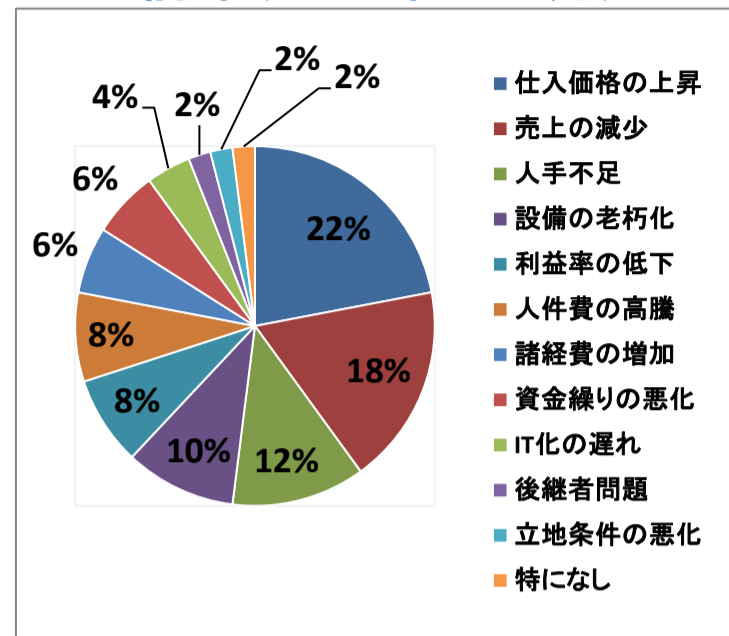
《 経営課題 》

今回(2020年1~6月)



売上の減少	利益率の低下	設備の老朽化	資金繰りの悪化
32.0%	17.0%	13.2%	13.2%
人手不足	IT化の遅れ	大手チェーン店との競合	諸経費の増加
9.4%	5.7%	1.9%	1.9%
仕入価格の上昇	その他	特になし	
1.9%	1.9%	1.9%	

前年(2019年1~6月)



売上の減少	人手不足	設備・店舗の老朽化	仕入価格の上昇
25%	18%	16%	13%
人件費の高騰	利益率の低下	後継者問題	諸経費の増加
11%	7%	4%	2%
IT化の遅れ	資金繰りの悪化		
2%	2%		

経営課題で一番多く挙げられたのが「売上の減少」で32.0%、次に「利益率の低下」で17.0%、「設備の老朽化」「資金繰りの悪化」で13.2%という結果であった。